

■ 3、4月の予定 ■ (変更になることもあります。) ☆:文書配布日 古紙:古紙等回収

3月		
1	水	茶道教室
2	木	陶芸教室、将棋教室
3	金	ふたふたクラブ、文化書道教室、いけばな教室
4	土	子ども茶道教室 
5	日	
6	月	ほのぼの健康体操、囲碁教室 
7	火	和裁教室
8	水	わくわく広場、書道教室 古紙 ☆
9	木	将棋教室、洋裁教室、俳句教室 ☆
10	金	ふたふたクラブ
11	土	
12	日	しいたけ作り、輪や和や食堂
13	月	囲碁教室
14	火	健康マージャン、和裁教室、写真クラブ
15	水	茶道教室
16	木	ふれあい昼食会、陶芸教室、将棋教室
17	金	ふたふたクラブ、文化書道教室、いけばな教室
18	土	子ども茶道教室 
19	日	
20	月	ほのぼの健康体操、囲碁教室
21	火	春分の日
22	水	書道教室 ☆
23	木	将棋教室、洋裁教室 ☆
24	金	ふたふたクラブ
25	土	
26	日	ひな流し(お茶接待)
27	月	囲碁教室
28	火	
29	水	
30	木	将棋教室 
31	金	陶芸教室

4月		
1	土	
2	日	
3	月	ほのぼの健康体操、囲碁教室
4	火	和裁教室
5	水	茶道教室
6	木	陶芸教室、将棋教室
7	金	ふたふたクラブ、文化書道教室、いけばな教室
8	土	子ども茶道教室 
9	日	輪や和や食堂 
10	月	囲碁教室 
11	火	写真クラブ
12	水	書道教室 古紙 ☆
13	木	将棋教室、洋裁教室、俳句教室 ☆
14	金	ふたふたクラブ
15	土	
16	日	
17	月	ほのぼの健康体操、囲碁教室
18	火	健康マージャン、和裁教室
19	水	茶道教室
20	木	将棋教室
21	金	ふたふたクラブ、文化書道教室、いけばな教室
22	土	子ども茶道教室
23	日	狂犬病予防注射
24	月	囲碁教室
25	火	
26	水	わくわく広場、陶芸教室、書道教室 ☆
27	木	陶芸教室、将棋教室、洋裁教室 ☆
28	金	ふたふたクラブ
29	土	昭和の日 
30	日	

3月8日・4月12日(第2水曜日) 古紙・牛乳パック・ビール缶(アルミ缶)の回収
各ステーションへ当日朝8時30分までに晴雨にかかわらずお出しください。
ご協力をお願いします。

ご寄付のお礼
◇一般寄附 令和4年今市42会様
◇香典返し 金一封 ()内は故人
京町1南 川島善定様(勝子様)
本町1 米田暁雄様(千賀子様)
ご厚志をありがとうございます。

埋立ゴミ収集の日、収集されなかった袋がコミセン前に残っていました。見ると、中にVHSカセットテープが入っていました。新しいエネセンが稼働したことで、令和4年4月1日からごみの分け方が一部変更になり、カセットテープは燃えるゴミになりました。今一度ご確認ください。

今市コミュニティセンター
電話: 21-5318 FAX: 24-1706
Mail: imaichi-cc@local.city.izumo.shimane.jp

第548号
2023.2.21

いまいち

令和4年度出雲市隣保館まつり人権標語入賞作品
てつだうよ こまったきみを みつけたら

令和4年交通安全年間スローガン
知らせ合う 早めのライトと 反射材

発行
今市コミュニティセンター
今市町自治協会
今市地区社会福祉協議会
今市地区人権・同和教育推進協議会

今市の人口(令和4年12月31日現在)
男2,934人 女3,388人 計6,322人



2月5日(日)に第7回出雲神話かるた大会が今市コミュニティセンターで開催されました。この大会は、カルタ遊びを通して出雲神話に親しんでもらおうと、NPO法人シャーネ・エレテ今市が2015年に始められたものです。コロナウイルスのため2年間中止になっていたこの大会も、今年は無事に開催することができました。当日は今市小学校1年から6年までの28人の児童の皆さんが4つの部に分かれ、優勝を目指して1枚でも多く取ろうという意気込みが溢れた賑やかな大会となりました。

今市コミュニティセンター 電話: 21-5318 FAX: 24-1706

クリスマス会 わくわく広場

12月14日(水)

今市地区社会福祉協議会の子育て支援事業
毎月の第2水曜日に開催している「今市わくわく広場」の12月は、『わくわくトリオさんのクリスマスコンサート』でした。ピアノとフルート2本で、クリスマスメドレーやアンパンマンなどの曲を聴いたり歌ったりして、楽しい時間を過ごしました。

その後はサンタさんの登場です。一人一人にクリスマスプレゼントを手渡しました。怖がって泣く子もいましたが、そこはご愛敬。プレゼントをもらった後はみんな笑顔になっていました。

3月はアンサンブル・ダル・セーニョの皆さんによる『お楽しみコンサート』です。



しめ縄作り

12月25日(日)

コミセン文化部(森山典子部長)主催

毎年楽しみに来てくださる方や初めての方など46名の参加がありました。

講師の那須康弘さんの説明を聞いた後、それぞれが作業に取り組みました。稲わらを燃ることがうまくできず苦労しておられる方、撚り方が反対で次の作業がうまくできない方など時間のかかった方もいましたが、最後は裏白、杠葉や小ミカンをつけて完成。出来栄えに一喜一憂しながらも、「おばあちゃんの家にも飾ってもらうよ」と言ってハサミで丁寧に形を整えている子どもさんもいました。

自分で作ったしめ縄を飾って、よい正月を迎えることができたことと思います。



羊毛フェルトで小物作り

12月20日(火)

コミセン生活部(古志享子部長)主催

いろいろな講座の講師としてご活躍されている羊毛フェルト作家の大國世津子さんを講師にお招きし、今年の干支であるうさぎの置物を作成しました。羊毛フェルトは、羊毛(ウール)を特殊な針(ニードル)でつつくことで、繊維を絡めながら任意の形に成形できる手芸の一種です。

「最初はうまくできるのか不安だったけど、やってみると思ったよりもシンプルな作業で簡単だったので楽しくできた」「完成した時は、初めて取り組んだことに対する達成感と癒されるものを作った嬉しさを感じた」など、11名の参加者は和気あいあいと作業を進めていました。



初釜 子ども茶道教室

1月21日(土)

子ども茶道教室や茶道教室の生徒さんとその親さんなどが参加して、新春恒例の初釜が開催されました。今市コミセンからは打田センター長と池田チーフマネージャーがお招きを受け参加しました。

子どもたちは、毎月2回開催される教室で三斎流の森山典子先生からご指導をいただいています。初釜はその成果を発揮する場でもあります。

最初に全員で新年のご挨拶をした後、教室の卒業生2名のお点前で、お茶と今年の干支のうさぎのお菓子を美味しくいただきました。いつもは賑やかな子どもたちも神妙な面持ちで臨んでいました。

その後、出雲神話かるたや簡単なゲームをして楽しいひと時を過ごしました。



南区とんど祭り

1月9日(月・祝)

毎年恒例となった今市町南区連合町内会主催のとんど祭りが、日吉児童遊園地で行われました。

立てた青竹の周りに積み上げられたたくさんのしめ飾り、破魔矢やお守りなどの前で、日吉神社の金本直秘禰宜様の祭司で家内安全や無病息災、併せてコロナウイルス退散の祈願が執り行われました。その後点火され、参加者が見守る中、穏やかな晴天の空に炎が高く舞い上がりました。

とんどは、小正月に行われる日本全国で広くみられる火祭りの行事で、歳徳神を祭る習わしが主体だった地方では『とんど』と呼ばれたそうです。

コロナウイルス感染の早期収束を皆で祈りたいと思います。



セラバンド体操

2月4日(土)

今市コミセン健康福祉部(高野正義部長)主催

島根県立大学出雲キャンパスの林 健司さん、荒木さおりさん、板持智之さん、松本祐香さんを講師に迎え、健康についての話を聞いた後、セラバンド体操の体験を行いました。

最初に、寿命や筋肉、体を動かすことのメリット、運動することで認知症の予防になる、生活活動を工夫することでも運動になるなどの話を聞き、健康づくりに前向きになった方もたくさんいました。

その後、セラバンド体操の説明を聞き、実際に映像を見ながらいろいろな運動を体験しました。

家庭での健康体操の習慣化のきっかけになれば幸いです。



人権・同和教育研修会 子どもの権利について 1月30日(月)

佐藤桃子さん(しまね性暴力被害者支援センターさひめ相談員)を講師にお招きし、今市地区人権・同和教育推進協議会の委員研修を行いました。

1989年に国連総会で採択された『子どもの権利条約』に定める子どもの権利には、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」があること、子どもの貧困とはこれらすべての権利の否定であること、日本や島根における子育て世帯の貧困の状況、子どもの虐待、子どもの権利条約を実現するためには何が必要なのかについてお話を聞きました。目から鱗な話がたくさんありました。



2023年度 団体育成費助成団体を募集!

今市コミュニティセンターでは、団体やグループに対して次のとおり育成費助成を行っています。

◆対象： 営利を目的としない地域活動
及び事業を積極的に行っている団体またはグループ

◆助成額： 1件あたり2~3万円程度

◆助成期間： 概ね3年以内

助成をご希望される団体またはグループの代表の方は、令和5年3月20日(月)までに今市コミセン(電話 21-5318)へお申し込みください。

詳しいことについては、今市コミセンまでお問合せください。